



平成26年

No.195

No.1309029F

北九州市産業経済局

農林水産部農林課

電話 (093)582-2078



新年のごあいさつ

北九州市長
北橋 健治

新年あけましておめでとうございます。おだやかな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年来、生産者の減少、高齢化の進展、耕作放棄地の増加といった長年の構造的な問題を解決し、農林水産業の競争力を強化しようとする動きがさらに活発になっており、農林水産業は大きな転換期を迎えています。

こうした中、本市では、これまで以上に、農林水産業者や関係団体の方々を一つにし、国、県等とも連携を図りながら、本市の農林水産業振興計画に掲げる「農林水産業者の所得向上」と「環境首都を実現する農林水産業の振興」に積極的に推進してまいります。

昨年6月、政府は、国の成長戦略である「日本再興戦略」に、農林水産業を成長産業とすること、また、今後10年間で、生産者が自ら、生産・加工・販売を行う「6次産業化」を進める中で、農業・農村全体の所得を倍増させることを掲げました。また、6次産業化の市場規模を2020年までに現在の1兆円から10兆円に拡大するとしています。

本市では、こうした動きなどをチャンスと捉え、「北九州市新成長戦略」の一環として、昨年4月に6次産業化の専門部署を立ち上げ、生産者が行う「6次産業化」に加えて食品加工会社等と連携して商品開発を行う「農商工連携」の支援などを行っています。

あわせて、震災がれきの受入れに伴う地元農林水産物の風評被害防止にご賛同いただいた約15万人の市民の皆様へ、「海の幸・山の幸を愛する地産地消サポーター」として地産地消をご支援いただくことになりました。引き続き、地元食材を地元で消費する「地産地消」の運動を多くの市民とともに盛り上げてまいります。

一方、有害鳥獣、自然災害など市民生活の安全・安心に関わる問題も年々顕在化しています。そこで、サル、イノシシ等の鳥獣被害については、昨年4月に、獣医師などの専門知識を有する職員を配置した担当課を設置し、区役所や農政事務所とも連携して、総合的な被害対策に取り組んでいます。

さらに、集中豪雨や台風、高潮等に対する災害防止機能の向上や、豊かな里地、里山、里海づくりを進め、食料の供給だけでなく農林水産業の多面的な価値を活かしてまいります。

今年も、このような取組を一層推進し、本市の食と環境を守り育む農林水産業の振興に全力で取り組んでまいります。引き続きご理解とご協力をお願いします。

新しい年が、皆様にとって実り多き年でありますことを心からお祈りいたします。

「竹林整備のための講習会」を受講しませんか？

■講習内容 竹粉碎機操作講習会、チェーンソー安全操作講習会

■日時 平成26年2月8日(土曜日)10時~16時30分

■場所 「北九州市立玄海青年の家」若松区大字竹並

■応募締切 平成26年1月31日(金曜日)※先着20名

■参加費 無料

■その他 本市では竹林整備のため竹粉碎機を無料で貸出しています。

■申し込み・問い合わせ 北九州市産業経済局農林水産部農林課 電話582-2078

竹粉碎機(チップパー)



食の展示商談会で自慢の6次産品をPR!

11月20日・21日に開催された「九州食の展示商談会2013 in くまもと」に、生産者等7団体が共同出展を行い、全国から来場したバイヤーに自慢の6次産品をPRしました。

成約に至るケースも出たほか、継続中の商談が複数あり、今後の販路拡大が期待されます。

また、出展者にとっては、値のつけ方、ターゲットの絞り方などビジネス感覚を養う貴重な場にもなったようです。



商談の様子

6次産品が学校給食に登場!

藍島の漁業者8人による「藍島活性化グループ」が生産・加工した「塩蔵(えんぞう)わかめ」が、11月27日・28日に、市内小中学校の給食に使用されました。

献立は卵スープで、海産物では初の「地産地消」、「6次産業化」の食材です。

今後、定番メニューとなることを期待しています。



給食の様子



塩蔵わかめ

ひびき海の公園開業記念イベントを開催しました

10月27日(日)、ひびき海の公園(マリンパーク)開業記念イベントを開催しました。

ひびき海の公園は、若松区の脇田漁港に整備した海水浴場や釣り桟橋、人工海浜、物産館、フィッシャリーナなどを備えた海辺の交流ふれあい拠点です。平成24年11月にプレジャーボートの係留施設であるフィッシャリーナが開業し、ひびき海の公園のグランドオープンとなりました。

これを記念して、地元の生産者(漁業者、農業者)や「汐入の里」、芦屋町役場の皆さんと、「地元の農林水産物や料理の販売」、「おさかなタッチングプール」、「サザエ積み上げ大会」、「スタンプラリー」、「砂像制作の体験教室」など様々な催しを行いました。

当日は、この秋一番の晴天に恵まれたこともあり、親子連れら約4,000人の人出でにぎわいました。「海の幸グルメコーナー」では、ウニサザエ飯や海鮮汁が格安で販売され、地元産魚介類を多くの人に堪能していただきました。また、海の生き物に触れ合える「おさかなタッチングプール」では、子どもたちが怖がりながらもタコやカニなどとのふれあいを楽しんでいました。



おさかなタッチングプール



サザエ積み上げ大会

第6回「豊前海一粒かき」のかき焼き祭り開催!

北九州市の冬の恒例イベントとなった「豊前海一粒かき」のかき焼き祭りを今年も開催します。

200台の焼き台を設置し、門司港レトロ広場一帯がまるで広大なカキ小屋に早がわり!

市内産食材を使った料理や加工品なども販売され、カキをはじめ、さまざまな北九州の旬のおいしさを堪能できます。

今が旬! カキ小屋で冬の味覚を満喫

プリプリの身が詰まったカキは、今が旬。今年のカキは例年になく豊漁で多くの方に食べていただけそうです。門司港から小倉南区へと続くカニ・カキロード周辺では「豊前海一粒かき」を食べられるカキ小屋が次々とオープンしています。

門司区大字猿喰の「恒見焼き喰い処」では、綺麗な海の景色を眺めながら、ゆっくりとカキを堪能することが出来ます。また、昨年大好評だった小倉南区曾根新田のカキ小屋「はちがめ」は、2年目を迎えパワーアップ。焼きカキ以外のメニューも充実し、早くも行列の予感です。

◆豊前海一粒かき販売

1,000円/1袋

(1.2キロ、10~15個程度。大きさにより数が異なります)

◆炭セット・軍手の販売 300円

◆日時

平成26年1月25日(土)・26日(日)

10:00~16:00(焼き台受付終了:15:00)

◆場所

門司港レトロ 中央広場



~農家と作る家庭の味~「親子料理教室」を開催



10月27日(日)、総合農事センターで「親子料理教室」を開催しました。これは、北九州市新成長戦略に掲げる地産地消の推進及び食育の一環として、小学生とその保護者を対象に実施しているものです。

参加者は親子4組11名で、始めに所内で展示栽培している農産物の見学や料理に使用する野菜の収穫体験を行いました。ハウスでは小倉南区で栽培の盛んなはくさい菜等の軟弱野菜、露地ほ場では若松区で栽培の盛んなキャベツやブロッコリー等の見学と収穫体験を行いました。根菜類の収穫時には、土の中からごぼうやにんじん等を引き抜いた際に歓声が上がっていました。

次に調理室へ移動し、講師として来て頂いた「北九州市農産加工グループ協議会」の会員の皆さんから指導をいただき、収穫した野菜で料理を作りました。当日のメニューはご飯、色々野菜のみそ汁、新鮮野菜サラダ、米粉入り野菜かきあげの4品でした。ご飯は「市内で栽培したお米」、みそ汁の味噌は小倉南区曾根新田で作っている「ひまわり農産加工グループの味噌」、かきあげの衣には「米粉パン工房 ライスグランマの米粉」、サラダのドレッシングとギョーザのタレには小倉南区合馬で作っている「梅の里工房の梅ドレッシングとポン酢ドレッシング」を使いました。また、食後に「瀬戸Sweet倶楽部の野菜入りかりんとう」を美味しくいただきました。市内産満載の料理でした。

試食後の意見交換では、「自分で収穫したものを使って料理する体験はなかなかない。楽しかった。また、市内の主な農産物など、色々知ることができて良かった」等の話がありました。

総合農事センターでは、これからも地産地消につながる行事を実施していきます。



収穫体験の様子



親子、真剣に調理中です。

北九州市主催第22回 小倉牛枝肉共進会 結果報告



開催日時：平成25年11月4～7日
開催場所：JA全農ミートフーズ(株)九州支社
(福岡県太宰府市都府楼南5-15-1)

- 最優秀賞 椰野 賢剛 (小倉南区)
- 優秀賞 佐野 憲彦 (小倉南区)
- 優良賞 椰野 保博 (小倉南区)
- 特別賞 奥田 一夫 (小倉南区)

第49回 福岡県肉畜共進会 結果報告



開催日時：平成25年9月30日～10月3日
開催場所：JA全農ミートフーズ(株)九州支社
(福岡県太宰府市都府楼南5-15-1)

- 銀賞 奥田 一夫 (小倉南区)



福岡県農林水産まつり農林水産賞

平成25年11月16日にアクロス福岡で開催されました第19回福岡県農林水産まつり式典にて表彰式が行われました。

この賞は、福岡県農林水産業の振興に顕著な功績のあった農林水産業者に与えられます。

- 水産優秀賞 個人 他力 清 (豊前海北部漁業協同組合 副組合長理事)
- 水産優秀賞 団体 豊前海区力キ養殖研究会
- 畜産優秀賞 指導者 浜崎 留久 (若松区)



今年も大盛況でした!

第27回北九州市農林水産まつり

11月23日(土)・24日(日)の2日間、秋の恒例イベント「北九州市農林水産まつり」が開催されました。晴れ渡る秋空のもと、多くの人出で賑わいました。

「小倉牛」や「豊前海一粒かき」、「若松潮風キャベツ」、「関門海峡たこ」などのブランド品をはじめ、地元でとれた野菜や海産物、加工品、花苗等が飛びように売られていきました。

各種体験コーナー、特別企画も盛況で、特に釜石市の特産サンマのコーナーでは、2日間で2,000尾の焼きサンマが振る舞われました。

25,000人の来場者にまつりを楽しんでいただき、また、市内産の農林水産物を大いにPRすることができました。



野菜の模擬せりの様子



木工コーナー

【総合農事センターからのお知らせ】 展示栽培実施中

品目	品種	播種時期	収穫時期	栽培の内容	備考	
野菜	スナックエンドウ	ホルンスナック、つるなしスナック2号	11月上旬	5月上旬	展示栽培	つるなし極早生品種
	四川児菜(チゲカキ)	—	9月下旬	3月下旬	展示栽培	直売向け、独特の辛味と食感
花き	菜花	農林32号、寒咲花菜	10月下旬播種	2月上旬	展示栽培	食用にも切花用にも出荷可能
	葉牡丹	つくみ、かごめ、くじゃく等15種類	8月下旬播種	—	展示栽培	色、形、大きさなど様々
	ハンジー、ピオラ	ナチュレ、ピビ等11種類	8月下旬播種	11月中旬	展示栽培	色、大きさなど様々
	美女なでしこ	新緋車、初恋	7月下旬播種	12月中旬	展示栽培	ハウス内で栽培。11～6月の長期開出切花用
	フリージア	テキサス、ブルームーン、アンバサダ、サンドラ	9月上旬定植	3月上旬	展示栽培	ハウス内で栽培切花用